

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	管理 係
事務事業名	大沼保育園建設事業		事業コード	13110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	12年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法、児童福祉施設最低基準

3 事業概要

(1) 事業の目的 老朽化した施設の整備を行い、保育環境の向上を図るとともに、保育需要の増加等に対応するため、定員増などの目的とした建替工事を行う。		(2) 対象(誰、何) 保育所入所児童、保育所入所待機児童	
		対象数	124人
(3) 平成13年度事業の内容 ・大沼保育園建設工事の実施 ・工事実施期間中の仮設園舎の賃借 平成13年度決算(見込)額 290,450千円		(4) 総合計画・実施計画における概要 なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	公立保育所の施設整備
		計画年次	12年度～13年度
		・平成12年度主要事業計画に基づき、計画的な公立保育所の施設整備について推進する。	

4 評価指標

指標名	大沼保育園の定員拡大率		
指標式	建替事業実施後の定員(150人) / 建替事業実施前の定員(120人)		
指標設定の意図	大沼保育園建替事業による定員の拡大による待機児童の解消を図る。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	0	120	a 150	b 120	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	0	57,057	290,450	295,744
	人員・時間数	0	0	5.0人:1681時間	5.0人:1681時間
	人件費			7,026	7,026
	その他経費	0	0	0	0
	合計	0	57,057	297,476	302,770
特定財源	0	55,387	208,876	207,872	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 125.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{150.0}{120.0} \times 100 = 125.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	予定どおり建替工事が完了した。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	老朽化した保育所の建替または大規模改修については、時代変化に伴いその必要性が要求されている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	経費に対し、定員増による保育所入所待機児童の解消、時代変化に合せた保育行政の実施及び電気料の削減を目的とした太陽光利用設備の導入と効果は大きいと考えられる。また、国の少子化対策臨時特例交付金を財源とした。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	当事業を保育所の設置者及び管理者である市が実施していくことは適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	当該事業実施に伴う保育環境の向上は、目覚ましいものがあり、保育所入所児童及びその保護者の満足度は高い。また保育所入所待機児童に対する入所枠の拡大に貢献している。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	上位施策である「保育環境の整備・充実」を実現する有効な手段として位置付けることができる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 施設整備の手段として大規模改修又は一部修繕も考えれるが、当該事業のような建替工事に勝る成果向上の余地はないものと考えられる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 新たな建築資材の導入等建設技術の向上によるコスト改善余地はあるものと考えられる。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	建替事業の完了に伴い、定員の増加と老朽化した施設及び設備の安全性が向上し、保育環境の向上が図られた。建設工事そのものも近隣との関係も含め概ね良好に進めることができた。また、少子化対策特例交付金基金を活用したため、市の財政負担を最小限に抑えながら、新たにランチルーム、オープン保育の可能な保育室の設置及び太陽光を利用した空調設備の導入を図ることができ、非常に質の高い保育所の整備を行なうことができた。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--